



関連科目，教科書および補助教材

関連科目

教科書

新編化学基礎(東京都書)

補助教材等

ダイナミックワイド図説化学、ニューグローバル化学基礎＋化学(東京書籍)

学習上の留意点

担当教員からのメッセージ

理解するためには、頭を使わなければならない。しかし、頭だけでなく、目、耳、口、手も使わなくてはならない。  
1問1問、電卓のキーをたたく問題が解くことが大事です。コツコツと

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	前期復習テスト		
2	質量パーセント濃度、モル濃度 演習	濃度の計算ができる	
3	演習		
4	反応式の立て方 演習	化学反応を反応式で表すことができる	
5	反応和ともなう計算(基礎編) 演習	反応をともなう計算ができる	
6	反応和ともなう計算(過不足編) 演習	反応をともなう計算ができる	
7	後期中間試験		
8	後期中間試験の解説 酸とは、塩基とは 酸・塩基の強弱	酸・塩基の定義ならびに酸・塩基の強弱がどのようなものかが理解できる	
9	水素イオン濃度、pH	水素イオン濃度、pHの計算ができる	
10	演習		
11	指示薬、中和反応	指示薬とはどのようなものかが理解できる 中和の基本が理解できる	
12	塩の分類とその水溶液の性質	塩の水溶液の性質が答えられる	
13	中和滴定	中和の基本を使って中和滴定の計算ができる	
14	中和滴定曲線	中和とpHの関係が理解できる	
<b>学年末試験</b>			
15	学年末試験の解説		
<b>総授業時間数</b>			30 時間